

学校教育目標	きれいな学校・調和のとれた人づくり
目指す学校像	①将来の夢や希望を育む学校 ②楽しく学び、心を耕し、感動あふれる学校 ③保護者・地域の期待に応え、信頼される学校
重点目標	1 学校教育目標達成のための教育計画の充実とICTの活用による学習活動の充実 2 生涯にわたって充実した人生を送ることができる力をつけるための質の高い教育の充実 3 保護者・地域の期待に応え、信頼される学校 4 「安心・安全」で隅々まで行き届いた質の高い教育環境の整備 5 「働きがい」のある職場と人間性豊かな教員の育成

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

心のサポートに関する取組

地域とともに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価				
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和 年 月 日				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査や、市の学習状況調査では、国語・数学いずれも全国・市平均と比べて基礎学力の向上が課題である。 (課題) ○全国学力・学習状況調査の結果分析から、国語については「知識・技能」についても「書くこと」「読むこと」「話すこと・聞くこと」についても課題が見られる。 ○全国学力・学習状況調査の結果の分析から数学について「知識・技能」についても「各領域」についても課題がみられる。	・学ぶ楽しさを味わうことのできる学習指導の工夫、改善と基礎学力の確実な定着	①生徒の学習に関する状況について、指導主事を講師として招聘し、全国学力・学習状況調査の分析を通して課題を明確にする。 ②分析をもとに、基礎学力の確実な定着を図る取組を各教科で実施する。 ③「学ぶこと」に対する興味・関心の向上のための図書館教育の充実を図る。	①生徒学校評価「授業は、楽しく分かりやすい」の肯定的評価が90%以上であったか。 ②保護者学校評価「お子様は授業は楽しく分かりやすいと言っているか」の肯定的評価が10%以上向上したか。 ③学校図書館における貸出冊数が向上したか。					
		・「真の学力」を育成する学習指導の工夫、改善と主体的・対話的で深い学びの実現	①「よい授業」(4つの因子)を生かした授業研究を年間1回以上取り組み、生徒の主体的な学習の機会を保障する。	①「よい授業」(4つの因子)を生かした授業研究を年1回以上実践することができたか。					
2	(現状) ○全国学力・学習状況調査「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をする生徒の割合は全国・市平均を上回っている。 ○教室に入ることができず、「Solar一む」等を活用する生徒や不登校生徒の数は少ない。 (課題) ○生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、個に応じて、適切に相談・支援していく体制をさらに充実させていくことが必要である。	・「心と生活のアンケート」等を活用した生徒の状況の把握と迅速な対応	①情報端末を活用し、「アンケート」等の記録を蓄積し生徒一人ひとりの状況を継続的に把握し対応に生かしていく。	①生徒学校評価「学校生活は楽しいですか」の肯定的評価が90%以上であったか。 ②保護者学校評価「相談に対して誠実に対応しているか」の肯定的評価が向上したか。					
		・「Solar一む」の活用や専門職との連携による「個に応じた学びの場」の提供	①「Solar一む」の活用や専門職との連携を生かし、「誰一人取り残さない」「個に応じた学びの場」を提供する。	①全教員による「Solar一む」対応の配置と活用を積極的に行うことができたか。					
3	(現状) ○校運営協議会の熟議をとおして、目指す生徒像について熟議を重ね、課題を見出し「地域とともにある」田島中学校の生徒像を共有している。 (課題) ○学校運営協議会で共有した「目指す生徒像」の具現化に向けて、家庭・地域に積極的に情報を発信するとともに、その実現に向けて家庭・地域と協力的な取組をさらに実践していくことが必要である。	・目指す生徒の姿を地域全体で共有することができる教育活動の広報	①学校だよりや学校ホームページ等を通して、生徒の活動の様子を発信し、学校の教育活動や生徒の成長について共有できるようにする。 ②授業参観や保護者会を通して、学校の取組や生徒の成長の様子を公開する。	①保護者学校評価「学校の様子を伝えている」の肯定的評価が90%以上であったか。 ②保護者学校評価「各種行事等を適切に設けている」の肯定的評価が90%以上であったか。					
		・地域行事に積極的に参加することによる「地域とともにあるコミュニティースクール」の実現	①生徒会や部活動等とも連携し、地域の行事に積極的に参加し、生徒が主役となる「地域とともにあるコミュニティースクール」を推進する。	①創立50周年の行事を実行委員会と協力して成功させる。 ②地域の行事に積極的に参加し、生徒の活躍の様子を広く広報できたか。					
4	(現状) ○施設・設備の老朽化により、修繕の必要な箇所も目立つ。 ○毎月の安全点検を確実に実施し、修繕箇所についてはできるかぎり早急に対応している。 (課題) ○施設・設備の老朽化に対しては、「安全点検」を確実に実施し、危険箇所については、迅速に施設課とも情報を共有するとともに、教職員にも周知していく必要がある。	・「安全な生活」について主体的に考えることのできる生徒の育成に向けた指導の充実	①委員会活動等を生かして、主体的に「安全な生活」について考えることのできる生徒を育成する。 ②学期ごとの「避難訓練」において、「安全」に関わる講話を行う。	①「避難所運営訓練」に参加する等、安全に関わる生徒の活動を実施することができたか。 ②避難訓練の時間を活用し、「安全」に関わる講話をすることができたか。					
		・安全点検の確実な実施と迅速な修繕	①計画的な安全点検の確実な実施と迅速な対応を徹底する。 ②予算の効果的な活用を生かした教育環境の整備を推進する。	①安全点検の毎月の実施と、点検に基づく迅速な補修・修繕を進めることができたか。 ②学校評価の「安全」に係る項目について、肯定的な評価が向上したか。					
5	(現状) ○ICTの活用については、校内研修において研修を重ねてきている。 ○人事評価面談を通して、研修への奨励を実施している。 (課題) ○ICTの活用について、教員間で取組の差がみられる。 ○研修について、余裕を持って学ぶことのできる時間の確保と環境整備が求められる。	・ICTの活用についての研修の充実	①ICTを活用した授業について、校内研修を実施し、効果的な活用について学ぶ時間を確保し、授業改善に取り組む。	①学校評価「ICTを積極的に活用しているか」の肯定的評価が向上したか					
		・研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励による教師の学びの促進	①人事評価面談時において、対話に基づく研修奨励を行うことで、個性に応じた意図的な教職員の育成を実施し、個々の資質能力を向上させる。 ②コーチング的手法を生かしたOJTによる教員相互の学び合いの機会を確保する。	①全職員へ人事評価面談で研修奨励を実施することで、確実な研修受講ができたか。 ②コーチングの理論に基づく教職員相互の学び合いの場を設定し、OJTを実践することができたか。					